

# 学ぶ楽しさつながる喜び

## 「大山カレッジ」第11回入学式

大山町オリジナルの大人の学校「大山カレッジ」の入学式が、4月19日に中山中学校で行われました。仲間とつながる楽しさと頭を使う爽快感が好評で、今年度は新入生4人を含む27人が入学しました。

式では、校長の手島孝人中山公民館長が、「学習を通じ仲間との交流の場を広げる充実した学校生活になるよ



▲笑顔晴れやか！大山カレッジ

う期待します」と式辞を述べました。今年度は、元大山町教育長山田晋氏による「世界遺産講座」も学習科目に加わり、より充実したカレッジならではの活動を関係者一同楽しみながら進めています。

# 史跡めぐりと山菜会

## 大山公民館高麗分館

4月30日に高麗史跡めぐりの会、高麗分館、ふれあいの郷かあら山との共催で「史跡めぐりと山菜会」が開かれました。

第一部は郷土の史跡をめぐるウォーキング。30人の参加者があり、朝妻夫人の位牌がある万福寺（稲光）、スセリヒメを祀った唐王神社（唐王）、

円仁の礼拝石などをめぐり、史跡めぐりの会の解説に耳を傾けました。

第二部は山菜を調理した昼食会で55名が参加しました。タラノメ、ハナイカダなどの山菜天ぷら、タキナやワラビの煮物。ノカンゾウ、セリの和え物やウコギなどを混ぜ込んだおにぎり。デザートにはすみれの花の寒天羊羹をいただきました。たくさんの春のごちそうに舌鼓をうち、参加者のみなさんは大満足でした。

# 男の料理で山野草を！

## 大山公民館大山分館

5月6日に「春の山野草を楽しむ会」が、男の料理同好会の主催で開催されました。

当日は驚見教育長を講師に、赤松の池周辺に自生する山野草の解説を受けながら、食材となるワラビやクズなどの山野草を採取しました。

料理同好会の手ほどきで、採取した山野草を天ぷらや和え物、お茶などに調理し、大山かおりそばも併せて会食しました。参加者は、食べられる山野草の多さに感心していました。当日のメニューは10種類以上になりました。



▲講師の話を聞きながら楽しく会食

